



議会だより

ピツシリ

第107号

2018年

7月25日

発行



- 【定例会】 条例改正、補正予算他 ...P2
- 【一般質問】 町政を問う (5名) ...P3~7
 - ・小形風力発電施設
 - ・まち・ひと・しごとづくり
 - ・旧宮坂ビルの今後の対応
 - ・羽幌町の農業の現状、課題とこれから
 - ・住宅リフォーム助成事業の延長と見直し
 - ・1期目の駒井町政と次期町長選出馬

天売高校のバトミントン部

天売高等学校 8名の生徒 (5月27日撮影)

- 【常任委員会報告】 ...P8
- 【行政視察 (下川町)】 ...P9
- 特集【議会傍聴】 高校生の声 ...P10

ぜひ議会の傍聴にお越しください

次回の定例会は **9** 月です

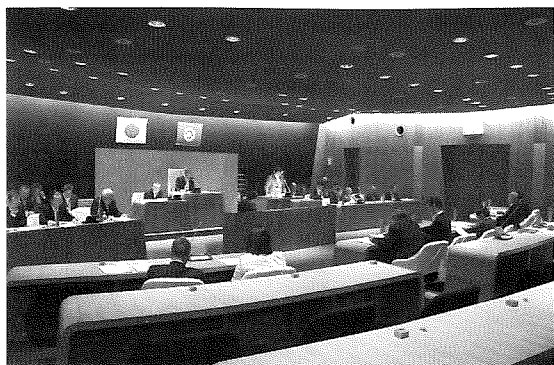
■発行：北海道羽幌町議会 ■編集：議会広報特別委員会
北海道苫前郡羽幌町南町1番地の1

議会議務局

TEL (0164) 68-7011 FAX (0164) 62-1278

第4回定例会

本議会は6月14日から15日までの2日間の会期で開かれました。今回は報告2件、承認1件、議案9件、諮問1件、発議2件が審議され、提案どおり可決されました。一般質問は5名で、町の行政に対して活発な議論を展開しました。



●緑の村（旧太陽小学校） 円形体育館倒壊の発生状況 と今後の対策

「緑の村」は昭和54年から30年間で整備した農業体験実習施設で、昭和57年から平成7年までさまざまな合宿などで使用していたが、利用減により平成9年より休村していた。その後、施設の老朽化が進み、安全面などを考慮し、立入禁止・封鎖措置をしていたが、この度、大雪の影響で体育館の屋根が倒壊した。今後は、補助金適正化法の規制があることからすぐに解体できないため、今まで同様に立入禁止・封鎖処置を継続していく。



●第1次定期監査

羽幌町監査委員により5月23日から24日まで、天売・焼尻支所、天売・焼尻各学校の定期監査を行った。



【専決処分の承認】

●二股沢川、22線沢川の一部が融雪により崩壊したため、河岸復旧をする補正
382万円

【条例改正】

●羽幌町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する一部を改正する条例
支援員の資格要件を教職員免許法で免許状を有する資格者と5年以上の従事経験を有する者で町長が認めたとした。

●羽幌町医師研究資金等貸与条例の一部改正
貸与申請期間の終期が平成33年3月31日後となっても申請があった場合、同日後も効力を有する。

【辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更】

・整備しようとする公共的施設の事業費の額及び辺地対策事業債の予定額の変更、新たな整備計画の追加。

【羽幌町過疎自立促進市町村計画の変更】
・スクールバス購入事業を追加する。

【契約】

・産業廃棄物埋立処分場建設工事 2億2842万円
・除雪ドーザ購入 2143万円
・ロータリー除雪車購入 4352万円



●一般会計補正予算

△4888万円

【主な補正内容】

- ・医師研究資金等貸付金 800万円
- ・教員住宅建設事業 △7078万円
- ・羽幌小学校改修工事請負費 651万円

【討論】

■反対討論 子供達のためにグラウンド整備は必要であるが、町の財政全般を考えると、今すぐ2000万円の起債を追加してまで慌ててやる事業でない。

■賛成討論 グラウンド整備は、土木建築業には効果がある事業で、今年度教員住宅をやらなかったため、非常に停滞しているのではやるべきである。
採決の結果、賛成多数で可決された。



羽幌小学校グラウンド

●人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の任期満了に伴い、花房 毅氏を推薦することに同意した。

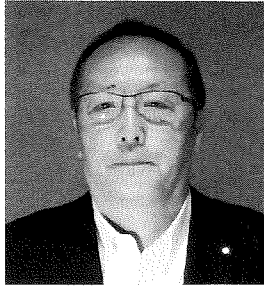
【第3回臨時会】（4月13日）

（行政報告）
羽幌温泉サンセットプラザで発生した火災内容報告。

（契約）

●羽幌町中央公民館大ホール舞台照明設備更新工事契約
6285万円

逢坂 照雄 議員



問 小形風力発電の問題や懸念は

答 条例の制定や実態把握に努める



小形風力発電施設設置風景と基礎工事

問 小形風力発電施設の現状と今後の動向

答 急速に普及、建設されてきた、小形風力発電施設について、どのような認識を持っているのか。

問 再生可能エネルギーの導入加速化は、国の環境政策で極めて重要であることから、平成28年に固定価格買取制度の改革が実施され、買取価格が他のエネルギーよりも高額になり、建設が急速に普及したものと捉えている。

問 多くの町民がこの小形風力発電施設について、施設の内容や騒音、低周波音、人体への影響問題などをよく理解されていないと聞く。それらに対する町の対策・対応はどのようなものになっているのか。

答 平成29年5月大気環境局長による通知では、これまでの研究結果を踏まえ、風力発電施設から発生する騒音が人の健康に直接的な影響を及ぼす可能性が低いほか、超低周波音・低周波音との健



小形風力発電施設

問 羽幌町は羽幌町小形風力発電施設建設に関するガイドラインを制定したが、さまざまな懸念に対応するため、拘束力のある条例を制定する考えはないか。

答 ガイドラインの条例化は、今後における再生可能エネルギー施策や本町の状況踏まえつつ、どのような対応が可能なの

康被害は、明らかな関連を示す知見は確認できないとされている。

問 先般の総務産業常任委員会において、12月以降に申請された事業計画のうち、7割超が指針を守っていない状況である。町としては罰則規定がないことから、事業者の自主性にまかせるしかないとの返答であった。これだと今あるガイドラインはまったく意味がなく、野放しの状態で建設され

か調査を継続し、必要に応じて条例化を検討していきたいと考えている。

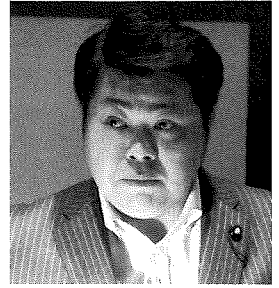
問 新たな施設に関する情報としては、ガイドラインに基づく関係書類の受理や、資源エネルギー庁ホームページにおける認定事業者の公表内容を確認し、把握する。早期の対応としては、現況確認など職員による目視や町民の皆様から情報提供をいただき把握していく。

てきたが、そのことに対して町はこれまでどう対応してきたのか。

答 これは大変だということでガイドラインを早急に作った。条例や規制については、今後の状況をみて判断する。

問 小形風力発電施設の設置には、地域住民の安全と安心が図られ、その上で住民の理解を得ることが重要であり、そのためにも早期に情報を把握しておく必要があると思う。新たな施設設置に関する情報を把握しているか、また、そのような情報を早期に把握するための対応はないか。

阿部 和也 議員



問 地方創生、重要視する施策は

答 子育て施策の充実も重要施策

まち・ひと・
しごとひびく

問 まちづくりを担う人材の育成・確保についてどのように取り組むのか。
答 各種事業や活動への参加促進と応援していただける皆さんの範囲拡大を図る必要があると考え

問 若い世代に事業に参加してもらえよう、参加することに対してのメリット(助成制度等の優遇)等は、行政としては難しいことなのか。

答 行政としての課題となる公平・公正を考えると難しいと考える。別の形で考えたい。

問 ふるさと納税について、他の自治体では寄付金額が数億、数十億に達している自治体もある。羽幌町の劣っている、足りない部分はどこだと考えているのか。
答 返礼品から寄付をする先を考えることから、返礼品が充実している自治体が寄付を多く集めている傾向にあると思う。

問 返礼品から寄付をする先を考えること、返礼品が充実している自治体が寄付を多く集めている傾向にあると思う。

問 それこそが地域のPRであり、地元産業にも大きく影響すると思われるが、供給面を考えての産業振興についても考えていくべきだと思つた。
答 返礼品については各事業所と協議し取り組んでいるが、行政サイドで考えたことも各事業所に提案する等、今後考えていきたい。

問 ふるさと納税を活用したクラウドファンディングについての内容は。
答 現在検討している事業としては、天売の海鳥保護と焼尻めん羊牧場に絞って寄付を集めていければと思つている。

問 若者に羽幌町で働いてもらえるように、雇用される側にも支援・サポートすることで労働力の確保につながるのでは。
答 直接の支援はできないが、会社側に支援することによって、最終的には従業員に跳ね返れば制度として成り立つのではないかと考える。

問 新規創業や空き店舗対策にもつながる、チャレンジショップ等を企画すべきだと思つた。
答 商工会で行っている創業塾等のなかでそういった議論になれば、行政としても支援できることがあれば考えたい。

問 地域経済の活性化として行われていた、プレミアム商品券に代わる事業について商工会との協議の経過と、一過性ではない経済活性化策に対しての、町の考えは。
答 地域経済の活性化として行われていた、プレミアム商品券に代わる事業について商工会との協議の経過と、一過性ではない経済活性化策に対しての、町の考えは。



昨年のワンコイン商店街

問 商工会からはワンコイン商店街を行うと聞いている。経済対策については、町としては今のところ考えは持っていない。
答 まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標を達成させるために、最も重要視する施策は何か。

答 産業活動を維持するためには、若い労働力の確保が重要であり、子ども・子育て施策の充実も重要施策として取り組む必要があると考えている。



ふるさと納税返礼品カタログ

小寺光一 議員



問 検討や道との協議を行うのか

答 今後、検討に入りたい

旧宮坂ビルの 今後の対応

問 昨年12月以降、対策や検討を行ったのか。

答 具体的な検討は行っていない。

問 具体的な話もせず、6カ月放置しておいていいのか。

答 パトロールで随時検査はしていた。

問 検討しなかった理由、やらなかった理由は。

答 今のところ思いつくものはない。

問 対策を積極的に取り組まない理由は。

答 現状では事務管理により対処することが最善策である。

問 今まで6カ月間検討も十分しないまま、なぜ最善の方法になったのか。

答 顧問弁護士に相談した結果、「危険な部分については事務管理で除去をしてください」と。それで

町民の安全は守れるでしよう」と。それによって

全体の責任を負うということにはなりませんから、町長さん、また危なく



旧宮坂ビル

なったら事務管理でその部分の除去をすればよろしいですよ」というご指導を受けた。

問 弁護士が自治体の一つの案件について「やりなさい」との指示はどうなのか。

答 私の記憶としてはそうだったが、そのことはもう記憶がはっきりしていない。

問 今まででは補助や制度が一切ないとのことだが、現時点ではどうなのか。

答 5月22日に留萌振興局から、旧宮坂ビルは略式代執行による除却という手法が取れそうであり、

除却費の5分の2の交付金と市町村負担分の2分の1が特別交付税で措置される旨の情報提供があった。今後略式代執行が可能かどうか検討する必要があるときえてい

る。

問 昨年12月の一般質問で町長は、3人の代議士にも相談し、非常に難し

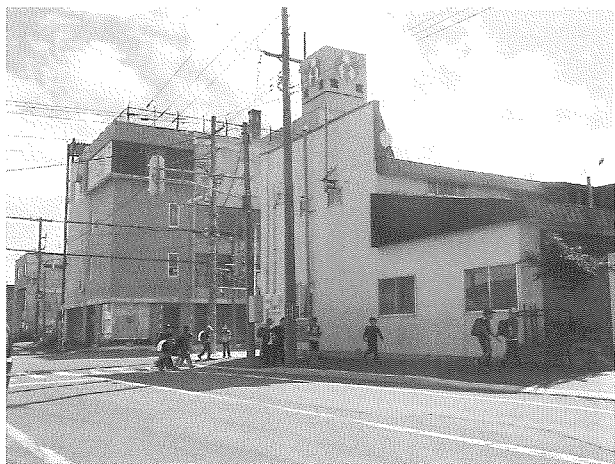
いと指導されたとの答弁があったと認識したが、**答** 実際に相談し、指導を受けたことはない。

問 12月に町長が「挨拶の中でも申し上げましたとおり、3人の代議士の方もいらっしゃいますので、何か方法があればと思いますが、現状ではちよこちよこ聞いておりますが、そついったことに対して非常に難しいというご指導をいただいていたと思っております。」と答弁された。難しいと判断を町長に指導したのは誰か。

答 12月に約束した検討と協議はどのようにやっていくのか。

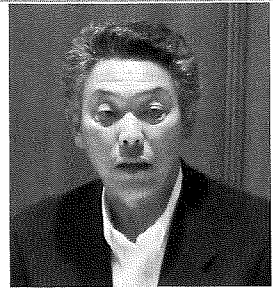
問 留萌振興局よりご提案、ご指導いただいたので、今後検討に入りたいと考えている。

答 12月に約束した検討と協議はどのようにやっていくのか。



旧宮坂ビル周辺は子ども達の通学路になっている

村田 定人 議員



問 農業の課題にどう取り組む

答 さまざまな情報をとらえ、検討する

農業の現状と課題

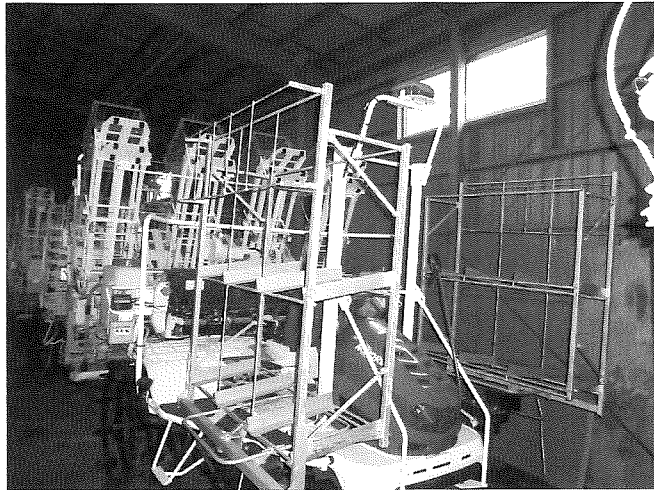
問 今年度から国主導の減反政策、米の直接支払い制度の廃止、TPP11日欧EPA等不安定要素がある。ここ数年も天候に恵まれ豊作の年が続いているが、農家戸数の減少は止まらず、すでに買い手が無く離農できない農家も出てきている。農業の就業人口確保には、後継者だけでなく新規就業者の育成も必要と考え

答 後継者の確保だけでなく新規就業者の育成も視野に入れる時期にきている。現在、JAオロロン管内の羽幌町、初山別村、遠別町及び農業改良普及センター等で行っている「担い手協議会」での議論の方向性を見極めつつ、町として新規就業対策にどう取り組んでいけばよいか検討する。

問 農業は一人で経営するのは難しく、2人ない

し3人の労働力があると良い。若手のパートナー確保対策や、特に春作業の労働力不足は深刻であり、どう対応していくのか。

答 労働力不足はすべての産業に共通した課題であり、漁業では外国人の技能実習制度を活用した取り組みが始まっている。農業では畜産業に限られると考え、引き続き、さまざまな情報を的確にとらえ、労働力不足対策を検討する。また、若手のパートナー確保対策は平成25年から3年間、実施してきたが、なかなか成果は上がらず婚活事業としては取りやめた。パートナー対策は非常にデリケートであり、行政や農協において事業化して行うのは難しいと判断している。



GPSを利用し直進アシスト機能付き田植機

問 各産業で情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）、ロボット技術が活用されているが、農業でも「スマート農業」を推進することが、省力化

労働力の軽減、魅力ある農業を見ることが担い手確保につながるかと考えるが。

答 時代の流れや労働力不足等を考えると、取り組む生産者も増加すると認識している。国の施策の動向を見極めながら対応していく。

問 鳥獣被害ではエロシカ、アライグマ、アオサギ、バトなどの被害を受けている。特にエロシカの被害は深刻であり、また、アライグマの生息数もか



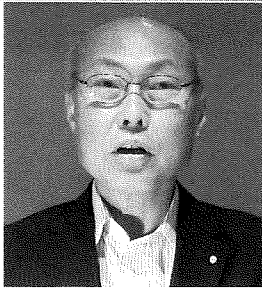
捕獲されたアライグマ

なりの勢いで増えているがどう対応するのか。

答 アライグマの状況は29年度103頭を捕獲し最高を記録している。本年も箱わなを10器購入し、捕獲体制を強化する。エロシカについては、一斉捕獲等さまざまな対策を行っているが数は減っていない。本年もすでに150頭ほど捕獲している。抜本的な対策を見いだせない状況、関係機関と連携を密にし、情報を共有し、対策強化の検討をする。

る。

金木直文 議員



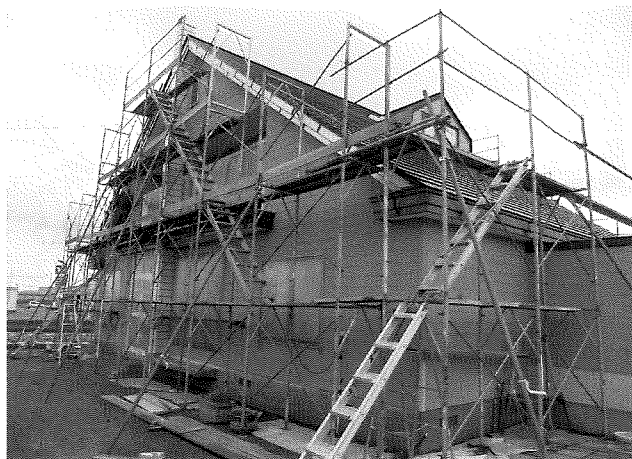
問 リフォーム助成継続すべき

答 目的はほぼ達成、延長は考えていない

住宅リフォーム助成 延長と見直し

問今年度も35件の予算枠に47件の申請が寄せられるなど、依然人気の高い事業である。補助対象となる工事経費7年間6千数百万円にも上っており、町内建築業など関連業者にとっては営業に大きく貢献している。まだしばらくは続けていくべき事業ではないか。今後は申請数が減っていくとの認識であれば、補助対象額を50万円以上100万円未満、補助額10万円の部を新設するなどの見直しがあってもよいのでは。

答住宅改修工事、建設設備工事費用の一部を助成することにより住宅の改修を促進し、快適で良好な住環境の整備、町内建設産業の振興や雇用の安定を図ることを目的として平成22年に開始し、9年間実施してきたが、その目的はほぼ達成されたと考え、事業の延長は考えてはいない。



リフォーム助成を受けての塗装工事

問目的がほぼ達成されたと考えた理由や根拠は。

答一部の業者において受けた工事をこなせない事業が毎年何件か起きている。住宅が足りないという状況のなかで、自宅を持って余裕がある人に助成するのかわりかどうかが、少し時間を置きたいと考えた。

問1次産業をしつかり支えていくためにも、町

で暮らす商店や中小業者が相まってきちんと営業されていかなければ、その町だつて成り立たない。しっかりと工事を行っている業者もいるのだから、事業を続けながら見直しや改善ができるのではないかと。補助成するのでも今年が最後かもしれないということ受注も進んだようだ。一回止めてみるのも次の状況を見るために必要だと考えた。

駒井町長の 次期町長選出馬

問ハートタウンの検証という公約について、どう評価しているのか。

答検証は不十分で終わっただといつ気持ちでいる。しかしながら、議会の議決を受けてのものであり、自分自身としても受け止めなければならぬ。

問今後の町政の主要施策や課題は。

答山、川、海などの豊かな自然と特色を持った島があり、これらのすばらしい環境を守りつつ、後



羽幌町役場

世に引き継ぎながら、基盤産業中心の振興、発展を図ることが重要である。人口減少が進む中、医療福祉、教育、子育てなど、良好な生活環境の提供が課題である。

問2期目への出馬は。

答町政への思いや課題へ全力で取り組む決意であり、2期目へ向けた出馬表明をさせていただく。

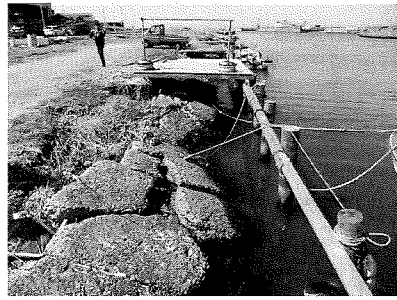
※この他、「子育て支援の強化によるまちづくり」「高齢者、ひとり暮らし世帯への支援」の2件について質問した。

総務産業常任委員会

(4月18日開催)

◆港湾関連施設視察

福寿川河口、フェリーターミナル（静穏度対策）、波徐堤、街路灯、船揚げ場、砂止めフェンス等を関係者と共に視察し、意見要望を聞いた。



浸食や崩壊が進む福寿川護岸

◆小型風力発電施設の現状と対応

羽幌町小形風力発電施設建設に関するガイドラインと町有地の賃貸、現状や対応について説明を受けた。

- ・再生可能エネルギーの普及に伴い問い合わせが急増、近隣町村の状況も踏まえ制定。制定日平成29年12月20日
- ・建設件数は建設済み(15基)

及び今後建設予定(20基)を合わせて35件が確認できている。

- ・町有地の賃貸は2社に対し、4筆賃貸借契約している。

(5月17日開催)

◆除排雪業務の実績

- ・稼働実績は除雪、排雪ともに昨年より日数は153%、時間は225%多かった。
- ・委託料は当初予算1億1674万円に対し、実績は5975万円多い1億7649万円。
- ・苦情件数は昨年より78件多い119件。
- ・雪捨場の使用結果は、昨年より多かつたが満杯にならずに終了した。



除雪車両

文教厚生常任委員会

(4月12日開催)

◆武道館建設

担当課より、武道館建設について説明を受けた。

- ①これまでの経過(抜粋)
- ・平成30年1月26日 設計業務指名競争入札
- ・平成30年4月4日 体育協会及び加盟団体への説明会

◆住宅改修促進助成事業

担当課より、住宅改修促進助成事業について、平成30年度補助予定件数、業種別内訳の説明を受けた。

- ②設計案(変更無し)
- ・追加事項
- ・体育協会からの要望等で、手洗い場(水飲み場)の設置を検討
- ③今後のスケジュール
- ・工事費補正予算の提出
- ・平成30年8、9月 工事着工予定



老朽化した武道館

(5月11日開催)

◆子育て支援

担当課より、羽幌町が行っている子育て支援事業、子育て支援センター運営状況、子育て支援センター各種事業アンケート結果の説明、報告を受けた。

◆住宅改修促進助成事業

担当課より、住宅改修促進助成事業について、平成30年度補助予定件数、業種別内訳の説明を受けた。

- 補助予定件数
- ・予算措置件数 35件
- ・申請受理件数 47件
- ・補助交付決定数 35件
- 業種別内訳
- ・建築20件、板金2件、塗装12件、内装1件、合計35件

(5月16日開催)

◆羽幌小学校グラウンド・市街地区教職員住宅整備事業

担当課より、交付金不採択の報告があり、今後の対応について説明を受けた。



改修工事前の羽幌小学校グラウンド

- (1)羽幌小学校グラウンド整備事業
 - ・財源を変更して、平成30年度に工事を実施。財源の内訳として、交付金の2000万円がなくなり、起債(過疎債)が1億740万円から1億4130万円、その他が1405万円から667万円となり、事業費が1億4146万円から1億4797万円に変更となった。

砂利の購入を有明ブランドの撤退により、遠別地区から購入するため、運搬費等が651万円の増額。

- (2)市街地区教職員住宅整備事業
 - ・入居可能な住宅があり、今年度は建設をせず、次年度に再度交付金の申請を行う。

森林未来都市 下川町 視察（7月2日）報告

経済・環境・社会の好循環による 持続可能な地域社会づくり



下川町役場

現在、全国の自治体で取り組まれている地方創生事業。羽幌町でもすでに「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、6次産業化への支援などが始まっている。

下川町（上川管内）では、以前から豊富な森林資源を活用したまちづくりを始め、地方創生をリード。全国から注目を浴びている。羽幌町議会で訪問し、その取り組みを視察した。

面積の88%が森林の町

上川管内の北東部にあり、オホーツク管内と接する下川町、人口3347人（7月1日現在）。夏はプラス30度、冬はマイナス30度と、年間の温度差は60度にもなる。



視察説明を受ける

地域消滅危機からの転換

かつては1万5555人（昭和35年）を数えた人口が、木材自由化や鉱山の衰退、JRの廃止などの影響を受け、人口が激減。人口の減少を抑えなければ地域が消滅してしまふという危機から、持続可能なまちづくりへの模索が始まった。

持続可能な地域社会へ

国有林を買い取って、原木の安定供給や雇用確保のため、年間約50ヘクタールずつの伐採と植林を繰り返し、森林を育成する「循環型森林経営」を実施。この事業が評価され、平成20年に「環境モデル都市」、23年に「環境未来都市」の選定を受けている。



宿泊研修交流施設「結いの森」

※環境未来都市

21世紀の人類共通の課題である環境や超高齢化対応等に関し、社会経済システム・まちづくりなどにおいて、世界に類のない成功事例を創出し、我が国全体の持続可能な経済社会の発展の実現を目指す。

未来都市のコンセプトは

豊かな森林環境に囲まれ、森林で豊かな収入を得、森林で学び、遊び、心身を健康に養い、木に包まれた心豊かな生活を送ることができるとしている。経済面では森林総合産業、環境面では森林バイオマス熱電供給、社会面では限界集落再生モデルなどといった事業に取り組み、3要素

が相互に関連、補いながら地域の振興を図っていく考えだ。



まちおこしセンター「コモレビ」

多彩な事業に自信

視察した施設では「これでもか」というくらいに地元産の木材が使われ、やわらかさとぬくもりを感じた。限界化する集落には「地域おこし協力隊」を導入、コミュニティバス、乗合タクシー、買物支援といった超高齢化支援など、ハード・ソフト両事業が多彩だ。それでも人口はじわじわ減っているというものの、社会人口では増えたときもあったという。現在策定中の第6期町総合計画には、「世界の目標とされるまち」がチャレンジ項目の一つとして掲げられる。こうしたまちづくりへの自信は見習いたいと感じた。

特集 議会傍聴

高校生の声

羽幌高校の3年生が授業の一環として議会を傍聴されました。アンケートの一部を掲載します。



メモを取る羽幌高校の3年生

※原文のまま掲載
【問1】傍聴する前の議会のイメージは？

- ・ 町長と議員がひたすら話し合う。
- ・ 静かですぐ終わる、わりとテキトーなイメージ。
- ・ 真ん中にいた司会の役の人はいないと思っていた。
- ・ 台本どおり進んでいく。
- ・ 難しい話とか財政の話をしている。
- ・ 「静か」や「難しい」が多数。

【問2】町長・職員と議員のやり取りはどうでしたか？

- ・ 町をよりよくしようとしているんだなと感じた。
- ・ 同じ内容について、深く話し合っているんだなと思

った。
・ 町民の声をちゃんとやっているのが伝わった。
・ 具体的な解決策などは、なかなか決まらなれないと思うた。
・ 全然話がかみ合っていない、話がかみ合えばもう少し違う話に時間を使えると思う。
・ 町民の意見が議会に直接伝わっているということがわかりました。でも大事な話し合いの場面なのに、検討を6カ月放置したり、記憶にないという発言は、あまりいい感じはしなかったです。

・ 同じことが繰り返されているところや、矛盾があったので時間がもったいないと思いました。
・ 今回見させてもらって町長との会話が質問に対する答えと一致していないと思っただ。「記憶にない」、「誤りがあった」など町長という町を背負う立場の人間として耳を疑う発言があった。最初に言った事と少し時間がたつてから言った事が違つた。どちらが発言したことに對して、もう片方がしっかりと質問や意見を言っていて、またそれについて応答

しているのを見ると、話し合い」とはこういうことなのかと思いました。
・ お互いに意見のやりとりがあいまいなところがあった。
・ 町長は宮坂ビルをなんとかしようという気持ちはないんだなと思つた。前と言っていることが違つていたりしていたので、嘘は良くないと思う。他の人に聞いた、休憩が多かつたので、状況を把握していないんだと思つた。

【問3】議会の傍聴を誰かに伝えましたか？

- 伝えた 28名(72%)
(親(両親) 17名、家族4名、友達3名、祖父母2名、その他3名)
- 伝えていない10名(26%)
・ 母に難しい内容だったけど、羽幌にあるいろいろな問題を知らることができてとても面白かつたと伝えました。
・ 羽幌の問題点や議論内容を家族に伝えました。
・ 母親に伝えた。羽幌町の未来が不安。町長が今のままでいいのかわからない。
・ 親や祖父に話した。ちゃんと進んでいるのか、よく

わからないと伝えた。
・ 「駒井町長がんばつていたよ」とおばあちゃんに伝えた。

【問4】また傍聴したい？

- したい29名(74%)
- したくない7名(18%)

・ 羽幌についての問題を知ることができてよかったので、ように問題が解決されているかを見てみたい。
・ 羽幌町の他の問題についての話し合いも聴いてみたい。
・ 今後の町の政策がどうなるか気になる。旧宮坂ビルの今後がどうなるか気になる。
・ 町長の意識が変わっているかどうか。
・ 自分の住む町であるため、テキトーな議論になってないか確認したい。

・ 町の問題点について町民として知っておくべきだし、不安を取り除いてほしいから。

【問5】羽幌町にある課題や問題は？

- ・ 「旧宮坂アパートの問題」が多数。怖い、危ない、町にあるのだから対策してほしい。
- ・ 高校のプールの今後。
- ・ 人口が減っている。

・ 羽幌町を良くしようとしているのかわからない点。
・ 風車が増えているので、環境に悪影響がでると思つた。
・ 神社祭の時にゴミをポイ捨てする人がいるので、なん箇所かにゴミ箱を設置したらいいと思います。
・ 水道料金が高い。
・ 子どもをもっと優先的に考えてあげてほしい。

【問6】議会や議員に一言
・ 議員のみなさんが町を変えようと意見を言ってくれて、とても嬉しかったし、安心しました。
・ 町民が安心して暮らせるように努めてほしい。何か町で問題がおこったときは後回しにしないですくすく対処してもらいたい。

・ 「頑張ってください」が多数。アンケートにご協力頂き、ありがとうございます。

「議会通信」を始めました
今定例会前に「議会通信」を町内21箇所に一週間掲示しました。内容は定例会での一般質問のテーマ等です。ぜひご覧いただき、議会の傍聴にお越しく下さい。